

## Patron Driven Acquisitions

### Note

このページでは、Patron Driven Acquisitions (PDA) の操作方法について説明します。Patron Driven Acquisition (PDA) ワークフローの詳細については、[AlmanoのPatron Driven Acquisition (PDA) を最大限に活用する]を参照してください[Getting the Most from Alma - Patron Driven Acquisitions.pdf](#)。注文の作成手順を含む全体的な購入ワークフローの詳細については、[購入ワークフローを参照してください。](#)

Patron Driven Acquisition (PDA) を使用するには、次のいずれかの役職が必要です：

- 購入オペレーター
- 購入マネージャー

AlmaのPatron Driven Acquisition (PDA) は、機関が関心を持つ可能性のある機関に電子リソースを送信するためのベンダーの合意を表しています。リソースはリポジトリファイルとしてインポートされ、ディスカバリー層に公開されて利用者がアクセスします。ディスカバリー層に公開するには、関連する設定を ([プロファイルを使用してレコードをインポート](#) 参照) のインポートプロファイルの詳細ページに設定する必要があります。

アクセスはベンダーによって監視されます。定義済みの閾値を超えると、アイテムは購入されたものと見なされ、EODの一部としてAlmaに送信されます。注文 (PDAとしてマーク) がAlmaに読み込まれ、ベンダーは関連する請求書を送信します。定義されたPDA期間の終わりに、購入されなかったPDAリソースは、機関がAlmaから削除できます。

Patron Driven Acquisitionは、Patron Driven Acquisitionページで管理されます (受入 > アドバンスツール > **Patron Driven Acquisition (PDA)**) 。

Name	Code	Status	Vendor	Start Date	End Date
1 EBL Books	EBL	Active	ProQuest Company	2016/02/01	-
2 PROQUEST_EBOOK_CENTRAL-PDA	PROQUEST_EBOOK_CENTRAL-PDA	Active	ProQuest Company	2017/05/05	-
3 Springer Link	SPR-LINK	Active	Springer	2016/02/01	-

### [Patron Driven Acquisition]ページ

PDAの詳細なプレゼンテーションについては、[受入 - Patron Driven Acquisition \(PDA\) デマンド主導の受入 \(DDA\) .pptx](#) をご覧ください。

次の手順では、PDAを使用するためのワークフローについて説明します。

1. PDAを作成します。PDAは、ワークフローで継続して有効にする必要があります (下記の[新しいPDAエントリを作成](#)を参照) 。
2. PDAのプロファイルを管理します (下記の[PDAプロファイルを管理](#)を参照) 。リポジトリファイルをインポートするには、プロファイルを有効にする必要があります。
3. ベンダーは、PDAに関連付けられているすべてのタイトルを含むリポジトリインポートファイルを送信します。ファ

イルをAlmaへインポートします（以下[リポジトリをインポートするには](#)を参照；また[インポートプロファイルを使用してレコードをインポート](#)を参照）。このステップでは、PDAプロファイルにリンクされた新しい書誌レコードとポートフォリオを作成します。その後、タイトルはディスカバリーシステムに公開されます。ベンダーは、利用者によるこれらのタイトルの使用を監視します。特定の回数（PDA契約による）を超えてアクセスされるタイトルは、図書館により購入されます（次のステップ）。

4. ベンダーは、機関が購入するタイトルを含む埋め込み注文データ（EOD）ファイルを送信します。Almaへファイルをインポートします（以下[PDA注文をインポートするには](#)を参照；[インポートプロファイルを使用してレコードをインポート](#)も参照してください）。インポートは目録を作成しません。Almaのマッチングプロセスは、関連する目録アイテムが存在し、PDAにリンクされていることを確認し、これらの注文（目録にリンク）の注文明細を作成します。一致プロセスでは、PDAにリンクされている書誌レコードのみが考慮されることに注意してください。

EODファイルを使用しない機関は、各ポートフォリオを手動で更新する必要があります。

- 。リポジトリ検索を実行して、ポートフォリオをさがします。[Almaで検索](#)を参照してください。
- 。注文を選択して、ポートフォリオの注文を作成します。

5. ベンダーは、購入したタイトルの請求書を送信します（例えば、EDIを使用して）。定義されたPDA期間の終了時に、購入されなかったPDAのリソースは、（下記[PDAエントリをクリーンアップするには](#)を参照）機関がAlmaから削除することができます。

#### Note

各タイトルのコストを管理する代わりに、一部の機関は指定された金額をベンダーに支払い、ベンダーはどのタイトルが購入されたかを機関に通知します。これらの場合、タイトルが購入されたことを示す注記をポートフォリオに追加できます。ポートフォリオローダーのバッチファイルを使用して、一度に複数のポートフォリオに注記を追加できます。

必要に応じて、PDAで次のアクションを実行することもできます。

- 。編集 - [PDAエントリを編集するには](#)を参照してください。
- 。重複 - [既存のPDAエントリを複製するには](#)を参照してください。
- 。一時停止 - [PDAプログラムを一時停止するには](#)を参照してください。
- 。終了 - [PDAエントリを終了するには](#)を参照してください。
- 。キャンセル - [PDAエントリをキャンセルするには](#)を参照してください。

新しいPDAのエントリを作成するには：

1. Patron Driven Acquisition（PDA）リストページ（[受入 > アドバンスツール > Patron Driven Acquisitions（PDA）](#)）で、**PDA**を追加を選択します。[PDAの詳細]ページが表示されます。
2. ページのフィールドに入力します。フィールドの説明を次の表に示します。

PDAの詳細ページのフィールド

フィールド	説明
ネットワークゾーンの使用	このフィールドは、ネットワークゾーンを実装する共同ネットワークのメンバーである機関でのみ表示されます。このオプションの説明については、 <a href="#">どこに新しい書誌レコードを作成するかを選択</a> を参照してください。

名前 (必須)	PDAエントリの説明的な名前。
コード (必須)	PDAエントリのコード
ステータス (必須)	<p>PDAのステータスを選択します。選択する場所：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>有効</li> <li>キャンセルされました</li> <li>下書き</li> </ul> <hr/> <p><b>Note</b></p> <p>デフォルトのステータスは下書きです。PDAワークフローの続行を有効にするには、ステータスを有効に設定する必要があります。</p> <hr/>
ベンダー (必須)	電子リソースを提供しているベンダーを選択します。
開始日 (必須)	PDAの開始日を選択します。
終了日	PDAの終了日を選択します。
アクセス閾値	教育機関がリソースの購入に同意した電子リソースに対して行われたアクセス要求の数。この値は情報専用です。ベンダーは値をチェックし、それに応じて続行します。
予算最低額	<p>アクセスの閾値に達した後、機関が電子リソースに対して支払う意思のある最大金額。また、ドロップダウンリストから通貨を選択します。</p> <hr/> <p><b>Note</b></p> <p>この値は情報専用です。Almaは、予算の閾値に達しても、リソースへのアクセスを妨げません。</p> <hr/>
アラート割合	<p>PDAの使用量が予算の閾値のアラート割合を超えると、<a href="#">PDA - PDAが閾値に達したことをアラートジョブ</a>が実行された後、PDA閾値のレターEメール通知が連絡窓口に送信されます。</p> <p><b>PDA - PDAが閾値に到達したことをアラートジョブ</b>は、毎日1回自動的に実行されるように設定されています。EODファイルをインポートした後、電子メール通知を送信するかどうかを判断するためにジョブが実行されます。EODファイルのインポートの詳細については、<a href="#">インポートプロファイルを使用してレコードをインポート</a>を参照してください。</p> <p>PDA閾値レターについては、<a href="#">Almaレターを設定</a>を参照してください。</p> <p>PDAアラートの詳細については、<a href="#">PDAアラート</a>動画（4分33秒）を参照してください。</p>
連絡は通知されました	このフィールドは、アラート割合を超え、連絡窓口に電子メール通知が送信されたときに選択されます。

ライセンス	PDAに関連付けるライセンスまたは改正を選択します。このフィールドは情報提供のみを目的としています。
連絡先	PDAに関連付ける連絡先を選択します。

3. 保存を選択して、入力した情報を保存し、Patron Driven Acquisition (PDA) リストページに戻ります。

PDAエントリを編集するには：

1. Patron Driven Acquisition (PDA) リストページ (受入 > アドバンスツール > Patron Driven Acquisitions (PDA)) で、行アクションリストの編集を選択するか、PDAの名前を選択します。PDAの詳細ページの概要タブが表示されます。

The screenshot shows the 'PDA Details' form with the following fields and values:

- Name: EBL Books
- Status: Active
- Start Date: 2016/02/01
- Access Threshold: 2
- Alert Percentage: 0.0
- Contact has been notified:
- License: Proquest
- Code: EBL
- Vendor: ProQuest Company
- End Date: (empty)
- Budget Threshold: 10000.00
- Contact: Braun, Connie

Patron Driven Acquisition (PDA) リストページ概要タブ

2. 必要に応じて、PDAの詳細情報を編集します。このページのフィールドの説明については、[新しいPDAエントリを作成するには](#)を参照してください。
3. 添付タブについては、[添付ファイルタブ](#)を参照してください。
4. 注記タブの詳細については、[注記タブ](#)を参照してください。

ページ上部のドロップダウンで関連するオプションを選択し (有効な注記または注記を却下)、注記を有効 (未読) としてマークするか表示されている注記を却下します。受け取った注記は、自動的に有効としてラベル付けされています。却下された注記は、注記を有効化ファセットから除外されますが、それぞれのリクエストには含まれています (削除されません)。

5. 保存を選択して、入力した情報を保存し、Patron Driven Acquisition (PDA) リストページに戻ります。

PDAプロフィールを管理するには：

Patron Driven Acquisition (PDA) リストページ (受入 > アドバンスツール > Patron Driven Acquisition (PDA)) で、行アクションリストのPDAプロフィールを管理を選択します。[インポートの実行]ページが表示され、PDAに関連付けられたプロフィールを管理できます。プロフィールの詳細については、[プロフィールを使用してレコードをインポート](#)を参照してください。

## Note

EODまたはリポジトリをインポートするには、PDAプロフィールを有効にする必要があります。

EBLを使用している場合は、インポートプロフィール内で次のプロパティを必ず設定してください。

- 注文明細通貨 - 1つの通貨のみがサポートされていることに注意してください。
- 小数点位置 - 2に設定します。

- 記載価格フィールド – 980bに設定します。
- デフォルトの注文明細所有者 – 定義する必要があります。
- 資金配分フィールド – 981bに設定します（パーセントサブフィールドを空のままにします）。
- デフォルトの資金 – 定義する必要があります。
- ベンダー請求書番号フィールド – このフィールドで同じ番号を持つすべての注文明細を1つの注文書にパッケージ化し、この注文書から請求書を作成するには、980fに設定します。

リポジトリをインポートするには：

Patron Driven Acquisition (PDA) リストページ (受入 > アドバンスツール > [Patron Driven Acquisition \(PDA\)](#)) で、行アクションリストのリポジトリをインポートを選択します。[インポートを開始]ページが表示されるので、インポートする1つ以上のリポジトリファイルを選択します。選択したファイルをインポートするため送信を選択します。インベントリアイテムが作成され、検出システムに公開されます。[インポートプロファイルを使用してレコードをインポート](#)を参照してください。

**PDA注文をインポートするには：**

Patron Driven Acquisition (PDA) リストページ (受入 > アドバンスツール > [Patron Driven Acquisition \(PDA\)](#)) で、行アクションリストの注文をインポートを選択します。[新規インポートを開始]ページが表示されるので、PDAのEODをインポートします ([インポートプロファイルを使用してレコードをインポート](#)を参照)。次に注文明細が作成され、購入ワークフローが開始されます ([購入ワークフロー](#)を参照)。

PDA注文をインポートするときは、.mrcファイルがMARC8文字でエンコードされていることを確認してください。

既存の**PDA**エント리를複製するには：

1. Patron Driven Acquisition (PDA) リストページ (受入 > アドバンスツール > [Patron Driven Acquisition \(PDA\)](#)) で、行アクションリストの複製を選択します。[PDAの詳細]ページの概要タブが開きます。[PDAエント리를編集するには](#)を参照してください。

フィールドには元のPDAエン트리と同じ値が含まれますが、名前フィールドとコードフィールドは空です。

2. 名前とコードフィールドに値を入力し、必要に応じて他のフィールド値を変更します。
3. 保存を選択して、入力した情報を保存し、Patron Driven Acquisition (PDA) リストページに戻ります。

**PDA**プログラムを一時停止するには：

Patron Driven Acquisition (PDA) リストページで一時停止を選択し (受入 > アドバンスツール > [Patron Driven Acquisition \(PDA\)](#))、確認ダイアログボックスで確認を選択します。

AlmaはPDAプログラムを一時停止します：

- このPDAプログラムのためにすでにロードされたがまだ購入されていないすべての書誌レコードを非表示にします
- PDAプログラム用に新しい書誌レコードがロードされるのを防ぎます

行アクションリストで再開を選択して、PDAプログラムを再開します。

PDAプログラムの一時停止の詳細については、[PDAプログラムの一時停止](#)ビデオ (4分11秒) を参照してください。

**PDA**エント리를終了するには：

Patron Driven Acquisition (PDA) リストページ (受入 > アドバンスツール > Patron Driven Acquisition (PDA)) で、行アクションリストの**終了**を選択します。AlmaはPDAの終了日を現在の日付に設定します。リポジトリはインポートできなくなりましたが、EODはインポートできます。

**PDAエントリをクリーンアップするには：**

Patron Driven Acquisition (PDA) リストページで**クリーンアップ**を選択し (受入 > アドバンスツール > Patron Driven Acquisition (PDA))、確認ダイアログボックスで**確認**を選択します。Almaは、注文明細が関連付けられていない目録アイテムをPDAから削除します。

---

#### Note

- PDAでクリーンアップを実行するには、最初にPDAを終了する必要があります。
- クリーンアップが実行されると、PDAステータスはキャンセル**済み**に設定されます。

---

**PDAエントリをキャンセルするには：**

Patron Driven Acquisition (PDA) リストページ (受入 > アドバンスツール > Patron Driven Acquisition (PDA)) で、行アクションリストの**キャンセル**を選択し、確認ダイアログボックスで**確認**を選択します。AlmaはPDAの終了日を現在の日付に設定し、注文明細が関連付けられていない目録アイテムをPDAから削除します。PDAステータスはキャンセル**済み**に設定されます。キャンセル**済み**ステータスのPDAプロファイルは、行アクションリストで**削除**を選択することにより削除できます。

---

#### Note

PDAエントリをキャンセルすると、終了アクションとクリーンアップアクションの両方が実行されます。

---